

眼科検査のあれこれ

～眼科コラム～

聖隷沼津病院 眼科検査室

視野検査について

皆さんは視野検査という検査を受けたことがありますか？

器械によって検査時間が異なり、長いものでは15分～20分時間が掛かる検査になります。

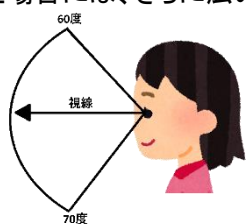
どんな検査をしているのか、そもそも視野とはどういったものなのか。

視野とは？

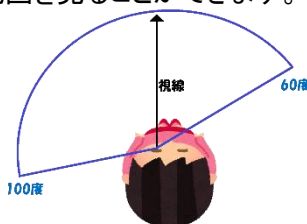
眼科における視野の定義は『片眼で一点を見つめたときに見える範囲』とされています。

このとき見つめている場所から、上方60度 下方70度 耳側100度 鼻側60度の範囲が見えると言われています。

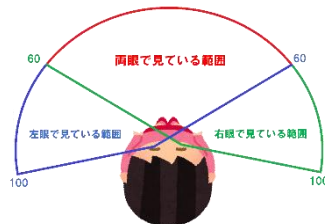
両眼で見た場合には、さらに広い範囲を見ることができます。



片眼で見ている場合



両眼で見ている場合



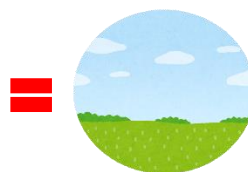
普段両眼で見ていることが多いため、片眼の視野に何らかの障害が起きても、もう片眼の視野で補っているため、中々自覚することができません。両眼で視野の異常に気づいた時には、視野に大きな影響が出ていることが多いです。



右眼見え方



左眼見え方

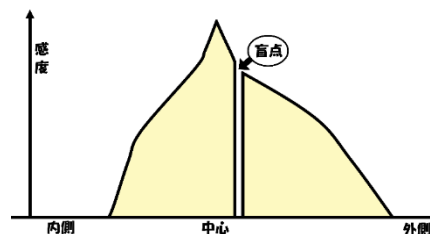


両眼見え方

どうやって視野を測定するの？

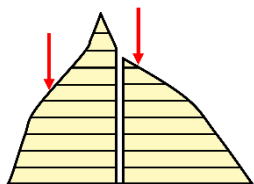
視覚の感度は右図のようになっていて、中心ほど光に対する感度が高く、周辺にいくほど感度が低くなります。また盲点と呼ばれる、すべての人が光を認識する事が出来ない部分が存在しています。

視野検査ではこの視覚の感度分布に光刺激を与え、反応を記録し、視野を測定しています。

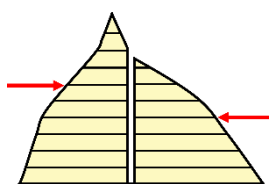


静的視野検査では、光の大きさ・提示する場所を固定し、光の明るさを変えることで、感度を測定しています。

動的視野検査では、光の大きさと明るさを組み合わせ、その光を見えないところから見えるところへと動かし、見える範囲と見えない範囲の境界を記録しています。



静的視野検査の光の出方



動的視野検査の光の出方